

JADCA 事務局から会員企業・関連団体の皆様に JADCA NEWS を配信いたします。

1. 2024 年定時社員総会開催

6月7日(水)アートホテル日暮里ラングウッドにて定時社員総会を開催いたしました。
当日の様をお知らせします。

第一部 2024 年度定時社員総会

司会の渡辺総務委員長より「本会が有効に成立した」との報告後、清水会長から開会挨拶があり、議案審議に入りました。

第一号議案 2023 年度事業報告と決算報告について特段の意義なく承認されました。
続いて報告事項として下記内容が報告されました。

1. 東京消防庁委託研究受託について
2. 会員僧院・診断士増員計画について
3. 微生物汚染対策検討委員会活動報告
4. 厨房ダクト火災抑制のパンフレット完成
5. 政策委員会活動報告
6. ビジネスモデル委員会報告
7. NADCA 総会参加・AIISA の報告

第二部は第3回ビル空気環境表彰受賞式が執り行われました。

ビル空気環境表彰は建築物内の居住者にとって安全かつ健康的な室内空気環境の実現に努力している特定建築物を顕彰するとともに、室内空気環境の維持管理の重要性について公衆に広く知らしめることを目的としています。

今回受賞をされたビル及び占有者をご紹介します。

大賞：日本都市センター会館 東京都千代田区平河町 2-4-1

占有者：公益社団法人 全国市有物件災害共済会

優秀賞：博多駅南Rビル 福岡県福岡市博多区博多駅南 1-8-13

占有者：株式会社菱熱

懇親会では会員企業連団体の方々をお迎えし、東京消防庁金野様の乾杯ご発声にて開宴し和やかな雰囲気です始まり盛会のうちに終えることができました。



2.ダクト清掃作業監督者講習のご案内

ダクト清掃作業監督者講習

建築物衛生法において、建築物空気調用ダクト清掃業の登録要件の一つになっているダクト清掃作業監督者資格のための講習です。この講習の主催は公益財団法人日本建築衛生管理教育センターです。詳細は、同センターにお問い合わせください。 TEL:03-3214-4627 (代表)

講習会ホームページ: <http://jahmec.or.jp/koushu/dakuto.html>

【新規】

地区	日程	会場
関東	2024年9月17日(火)~20日(金)	ワйм貸会議室高田馬場 東京都新宿区高田馬場 1-29-9TDビル3階

【更新】

地区	日程	会場
関東	2024年8月26日(月)~27日(火)	三田国際ビル1階 東京都港区三田1-4-28

3. JADCA 研修・活動予定 7月~10月

日付	内容	開催形式/会場
7月19日(金)	厨房排気設備診断士更新研修	オンライン研修 (ZOOM)
8月8日(木)	微生物汚染対策検討委員会	JADCA 新橋事務所
8月22日(木)	JADCA スタダード研修 厨房版	オンライン研修
8月23日(金)	JADCA スタダード研修 空調版	(ZOOM)
9月6日(金)	オンライン勉強会 横浜油脂工業株式会社 説明勉強会 「ケミカルの基本情報・現場に応じたケミカルの選定」	オンライン研修 (ZOOM)
9月10日(火)	評価認定委員会	JADCA 新橋事務所
9月12日(木)	空気調和用ダクト清掃従事者研修 1年研修	オンライン研修 (ZOOM)
9月19日(木)	空調システム診断士養成研修	オンライン研修
9月20日(金)		(ZOOM)
10月10日(木)	空気調和用ダクト清掃従事者研修 2年目以降研修	オンライン研修 (ZOOM)
10月17日(木)	厨房排気設備診断士養成研修	オンライン研修
10月18日(金)		(ZOOM)

4.JADCA 活動のご報告 4月～6月

日時	内容	会場
5月17日(金)	厨房委員会 ワーキンググループ	浅草観光文化センター会議室
5月21日(火)	JADCA 東西関東支部コンペ 	ゴールド佐野カントリークラブ(栃木)  優勝：(株)ジャパントーア 檜森様
5月29日(火)	株式会社タムラカントウ会社見学会	(株)タムラカントウ 本社・工場
6月5日(火) AM	支部長会議	アートホテル日暮里ラングウッド
6月5日(火) PM	2024年度 JADCA 定時社員総会・懇親 第3回ビル空気環境表彰 受賞式	アートホテル日暮里ラングウッド

会員企業会社見学会 株式会社タムラカントウ様



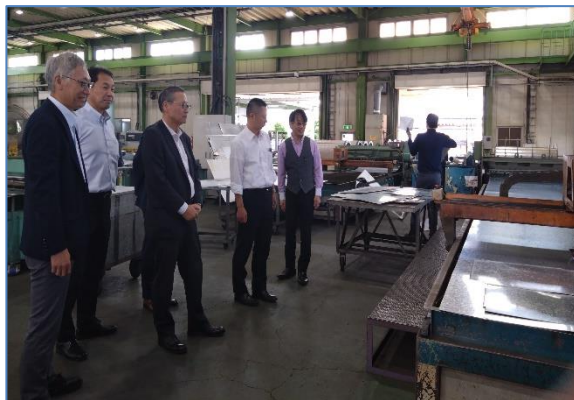
5月29日(水)会員企業の株式会社タムラカントウ様の本社・本社工場の見学会が開催されました。

(株)タムラカントウ様の事業は建物内の空調や換気に必要なダクトの製作、施工管理などを行っており、これまで最適なダクトで日本中に快適な空間の提供を実現されており関東最大級の会社です。

工場内では最新の機械が揃いダクト業界初のレーザー切断機や火花を出さない圧着機など高品質の機械を見学させて頂きました。

独自に機械を開発し多種多様なダクトやオーダーメイドのダクトなどお客様のニーズに答えるための研鑽を積み重ねているとの事でした。

今回の開催にあたりお忙しいところご対応頂きました林様、小林様、木村様大変お世話になりました事心より感謝申し上げます。





会員企業 200 社 診断士 1000 名 達成プラン

JADCA 会員企業限定！2024 年度プラン

会員増強プラン・・・会員企業 紹介制度

- ・ 1 社紹介した会員企業には協力金として **10,000 円の商品券**を提供します。

※入会時に紹介会員企業へ商品券の提供

診断士増強プラン・・・会員企業 特別受講制度

- ・ 正会員企業の方は年間で各養成研修厨房診断士 1 名、空調診断士 1 名の受講料を**無料**にします。

※2024 年度 1 回目の講習（9 月 19.20 日 空調・10 月 17.18 日 厨房）

※2024 年度 2 回目の講習（2 月 空調・3 月厨房）11 月に開催日を告知致します。

はかるという仕事（後編）



JADCANEWS113 号より後編

JADCA 学術顧問（元東京都健康安全研究センター）狩野 文雄

3. 放射能をはかる

2011 年 3 月 11 日、東日本大震災が発生した。太平洋の 100 km にわたる海岸を襲った 10m を超える大津波により、福島第 1 原発の 3 基がメルトダウンした。そこで、定年退職後の再雇用の 5 年間で、環境放射能の測定に携わることになった。飲料水、大気降下ばいじん（フォールアウト）と大気環境放射能の測定を行った。環境放射能の単位として、3 つの数値がある。「ベクレル (Bq)」と「グレイ (Gy)」と「シーベルト (Sv)」単位で、放射線を出す能力を単位は「ベクレル」で、1 ベクレルは、1 秒間に崩壊する放射性物質の原子が一つという数値である。グレイは、「吸収線量」の単位で、身の回りの物体がどれだけ放射線のエネルギーを吸収するかの目安である。シーベルトは、スウェーデンの医師シーベルトが決めた人体の放射線影響の目安である。「線量当量」の単位で、放射線の生物への影響をあらわす数値である。自治体の環境放射能測定に広く使われ、杉並区役所前の放射能レベルは、0.07 マイクロシーベルト/1 時間と発表されている。現在、原発の廃炉作業が進行中であるが、原発処理水とは、1～3 号機内のメルトダウンした核燃料（デブリ）に接触した冷却水で、建屋に流入する高濃度汚染水を除染設備で、セシウム 137 やストロンチウム 90 などを低減化し、多核種除去装置 (ALPS) でトリチウムを除く残存する放射性物質を除去後、貯蔵タンクに保管した大量の処理水である。震災から今年で 13 年になるが、貯蔵タンクが満杯で限界となり、東京電力は、処理水を海水と混ぜてトリチウム濃度を排水基準（1500 ベクレル/L）の 40 分の 1 未満まで希釈して、原発沖合 1 キロの海底から放出している。しかし漁業関係者は、風評被害を恐れるだけでなく、隣国の中国は、日本の全水産物の輸入禁止を発表して、今や水産物業界の命運を左右しかねない状況である。こうした状況で、安全性の根拠となる放射能のデータを正確に読み解くことのできる情報活用力（リテラシー）が要求されている。国際放射線防護委員会（ICRP）の勧告によれば、年間 100 ミリシーベルトを超えると、発ガンリスクが 0.5% 増えると公表されている。た

だし、そこには多くの背景要因（バックグラウンド）が存在する。人的要因、遺伝的要因、環境要因（住居・職場・屋外）・趣味行動・余暇的要因などの交絡因子がある。バックグラウンドとなる低線量被曝のリスクに対して、環境汚染物質を例に出して、喫煙リスクの方が数百倍高くなるとか、なかには放射能を気にするストレスが、発ガンのリスクをあげるとコメントする似非学者まで飛び出してくる。こうした世論の不安に対して、データを提供する測定者の立場からは、何らのコメントもできない。そもそも環境放射能を測定する仕事は、ある条件のもとで、きわめて限定された装置や機器を使って微量な値を検出して、データとして数値化するまでの作業であり、それより一線を越えることはできない。多様なバックグラウンドを持つ自然環境や都市環境のほんの一部を切り取って、数値化（デジタル化）することであり、測定値は氷山の一部分、海面上に浮かぶ小さな氷の塊しか見ていないのである。

4. 地球環境をはかる

地球温暖化の要因とされる二酸化炭素（CO₂）は、2021年の大気中濃度が、c（アメリカ海洋大気局）の月平均値で419ppmと過去の最高値を記録した。CO₂の正確な測定機器を発明したC. D. キーリングが正確な観測を開始した1958年当時では、315ppmであったので、約100ppmも増加したことになる。国連の「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」が1988年に設立され、2023年3月に、第58回総会の議決を経て、「第6次評価報告書」（AR6）が公表された。昨年の国連議会で、グテーレス事務総長は、「今や地球沸騰化の時代が来た」と発言した。かつて、NASAゴダード宇宙研究所の気候学者J.ハンセンが「地球温暖化には、人為的要因が99%の確率で認められる」と言ったが、2021年ノーベル物理学賞が与えられた真鍋淑郎教授は、大気と海洋にCO₂循環モデルを提唱して、気候変動モデルの元となったのが受賞の理由である。彼は「気候変動を人類のメジャークライシス（重大危機）」と呼んで警鐘を鳴らす。化石燃料削減対策や省エネ対策を推進させ、削減に取り組んできているにもかかわらず、その測定値の上昇には歯止めがかからない。地球的な大規模な異常気候の兆候はすでに世界各地に起きつつあり、気象庁は、昨年夏の日本は、過去126年で最も暑い夏を記録したと発表した。世界中で、ノアの箱舟のような洪水による被害が報告される一方で、オーストラリアや北米大陸での熱波や干ばつでコアラや野生動物の生息地が消滅している。果たしてCO₂濃度の測定観測により、これ以上の地球温暖化を防止でき、地球環境が変わるのであるか？

5. 測定の意義

行政側には情報公開の義務がある。一方それらの情報をいかに伝えるかで、メディア・リテラシー（情報理解力・活用力）が問われてくる。一般住民が頭ごなしに受け取らざるを得ないそうした情報をどう理解するか、正確な情報を得て、より良い対応ができるかが問われてくる。気象予報や市場予測などには、ビッグデータが欠かせない。それらを扱うスーパーコンピュータやAIの開発により、膨大なデータを読み解くことのできる一方で、人は、受動的な情報量の急激な膨張に追いついていけるのだろうか？人間の頭脳処理を超える情報受容力を高めることには限界があるため、相対的に人の知識（受容可能な情報量）はますます減少していく。インターネットがよりグローバル化し、瞬時に世界の裏側の出来事が伝えられても、原発事故による福島県の避難住民の声を聞いても、行動変容を起こせないのが現実ではないだろうか。現代の科学技術は、当面の課題なり難題に対して、「とりあえずの最善策」を与えることでしかない。世界で生じる出来事はいつも不確実で、人間は必ず間違ふということを前提としなければならない。間違いを認めて、それを常に修正していくことのできる「開かれた社会」が理想社会である。人間と社会との歴史の流れの中で、現在の環境と人間との関係を測定しデータ（記録）として残しておくことは、私たちの未来を救う手がかりとなることだと思う。

- 1) 阪上孝・後藤武：〈はかる〉科学—計,測,量,謀・・・〈はかる〉をめぐる12話（中公新書1918）（2007）
- 2) 和田純夫他：新・単位がわかると物理がわかる（ベレ出版）（2014）

事務局 etcetera (エトセトラ)

B型家族の共通項

平成元年に社会人になりました。

新卒で入社した大企業の転勤辞令で北海道から上京。『寄らば大樹の陰』とのアドバイスを聞き入れないかたちで転職を決意し、フリーターを経験した上で現職に就き、あっという間に30年以上が経過しました。

最近の集計で人口2,500人まで減少した小さな町で、野山を駆け巡って育った事もあり、今でも同世代には負けない体力・運動能力を維持できていると自負しています。その極々小さい町に、初めてのプロ野球選手が誕生しました。広島東洋カープの2023ドラフト3位『滝田一希』君、プロ野球をご覧になれる方がいらっしゃれば、気に留めて頂けると嬉しいです。



その様な話を持ち出すほど、幼少期より野球好きです。幸いなことに、球場での野球観戦が妻と息子(高2)との共通の趣味になっています。どちらかと言えば私より妻・息子が熱狂的なくらいです。タイミングによっては、既に独立している上の息子2人に彼女などを加えて、球場観戦がイベント化する事もあります。

今年もZOZOマリンスタジアムやベルーナドームに通い、推しである日本ハムファイターズを全力応援しています。6月の神宮球場全3試合も観戦できました。

何と言ってもエスコンフィールドでの観戦は格別なので、去年は5試合、今年は7試合を現地で応援です。

少々強引に言えば、スポーツをする事も共通の趣味でしょうか。妻はバレーボールとchocoZAP、息子は男子ソフトボール部に所属(3月に東京代表として山口県での全国大会に参加出来ました)、自分も週3~4回のフィットネス通い・週末はソフトボールの練馬リーグ戦・下手なゴルフなど、更にはスポーツに加えて、お酒が大好きなので、毎日の時間配分に工夫が必要です。

休日には、家族それぞれに練習や試合があるので、中々温泉旅行の様な遠方外出が出来ない状況は少々残念なところです。

あまり誇る事が無いわが家族ではありますが、日々の生活の中、皆で継続しているひとつの習慣があります。『外出する家族を必ず見送りに出る』ことです。

出勤や登校などのタイミング以外でも、スポーツジムに行く・コンビニに行く・ゴルフの練習に行くなどの全てで、玄関や2階の窓から手を振る、手を振り返す習慣があります。

園児や小学生に対してする様な声かけを家族にします。

高校生の息子が手を振って見送ってくれる事は、じんわりと温かい気持ちになれるものです。

『この瞬間が最後なるかも知れないから、後悔しないように』と言う自分たちの価値観で継続していることなので、誰かに共感を求めたりはしません。

行動は子供っぽいですが、家族で手を振り合う事には、互いを大切に思う気持ちや無事を願う気持ちが自然にこめられます。

自分よがり、好き勝手な全員B型の家族ですが、ひとつのルールをコミュニケーションとして、お互いへの思いを日々確認出来ている様に思っています。



編集後記

JADCA 会員向けに会員、診断士増強のプランが案内されました。会員紹介のご協力をお願いすると共に、診断士に関しては空調と厨房の両診断士が各 1 名無料となり、すでに案内している診断士受講に関しても 2 年間限定で受講条件を無くしプライスダウンしております。是非この機会に沢山の方の受講をご検討頂ければと思います。

梅雨入りとなり蒸し暑い日が続いておりますが、湿度の高い暑さは、気温の数字以上に熱中症になりやすいとされておりますので、特に現場作業に従事される方はご注意頂ければと思います。



JADCA 事務局

〒105-0004 東京都港区新橋 1-12-9 新橋プレイス 7 階
TEL 03-6274-6064 FAX 03-6274-6065
E-mail : info@jadca.jp URL : <http://www.jadca.jp/>